

# 国 語

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	国語 701・801・901	B 5 1,042	令和2年
15	三省堂	三省堂◆	国語 702・802・902	B 5 1,055	
17	教育出版	教 出◆	国語 703・803・903	B 5 1,074	
38	光村図書	光 村◆	国語 704・804・904	B 5 1,000	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

都立白鷗高等学校附属中学校 国語 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東 書	15 三省堂	17 教 出	38 光 村								
内 容	日本の文化・伝統を扱っている古典以外の教材数	☆	8	☆☆☆	17	☆☆☆☆	22	☆☆☆☆	19				
	国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	☆	4	☆	4	☆☆☆	7	☆☆☆☆	9				
	論理的な思考力・表現力を育てる教材数	☆☆	25	☆☆☆☆	29	☆	22	☆☆☆☆	28				
	文章表現能力の育成を図る教材数	☆☆☆	26	☆	22	☆☆	24	☆☆☆☆	28				
	な 単 元 数	域お現判(思 ごけ力断考 とのる等力、 の3)表 主領に表	☆☆	15	☆	12	☆	14	☆☆☆☆	20			
		話すこと・聞くこと	☆☆☆☆	22	☆	19	☆	18	☆☆☆☆	22			
		書くこと	☆☆	39	☆	38	☆☆☆☆	48	☆☆	43			
	と 判 断 力 考 考 力 表	読むこと	☆	13	☆	16	☆☆☆☆	30	☆☆	21			
		別 作 品 数	☆	12	☆	12	☆☆☆	15	☆☆☆☆	16			
		文学的な文章	☆☆☆☆	48	☆	35	☆☆☆☆	52	☆☆	41			
詩歌(古典を含まない)													
構成上の工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末に、3年間の「言葉の力」と「学びを支える言葉の力」の一覧を掲載し、巻頭に各学年の学習内容と学習指導要領との対応を提示している。</li> <li>・「話す・聞く」「書く」では、完成作品例や、途中段階の具体例、話し合いの例などが示されている。(1年P55など)</li> <li>・各教材を「目標」「問いかけ」→「言葉の力」→記述式の「振り返り」という流れで構成し、生徒が主体的に取り組んだり振り返ったりできるようにしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・「領域別教材一覧」に「つけた力」を示し、見直しをもって学習に取り組めるように工夫している。</li> <li>・各教材で、目標を確かめて、学習の見直しを持ち、「学習の流れ」が分かるようにしている。</li> <li>・単元のまとめで、振り返りのキーワードが示され、これからの学習に生かすため、自分の学習を振り返って評価できるようにしている。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の構成と学びを進める七つのキーワードにより、多様な話題への取組を通して言葉の力を高める。</li> <li>・各教材に学習内容を明確化するページを設け、各教材に入る前に、内容をより深く理解したり、学習内容を認識したりするための手立てを示している。</li> <li>・「目標」と「振り返り」で、課題意識を高め、学習内容を達成したか、学習者自らが学習の方法や内容を振り返り、学んだことを自覚できるように工夫している。</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・巻頭に、1年間の国語学習全体を見渡せる資料を提示している。</li> <li>・「学習」(手引き)の「見直しをもつ」で何を何のために学ぶかを把握し、「学習課題」で学習過程に即して主体的に学び、「振り返る」で自己の成長を実感できるようにしている。</li> </ul>		
参 考	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料	あり		あり		あり		あり					
	防災や自然災害の扱い	あり		あり		あり		あり					
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり		あり		あり		あり					

都立小石川中等教育学校 国語 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東 書	15 三省堂	17 教 出	38 光 村	
内 容	国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	☆ 4	☆ 4	☆☆☆ 7	☆☆☆☆ 9	
	豊かな読書活動へと発展する教材数	☆☆ 40	☆ 33	☆☆☆☆ 48	☆ 35	
	論理的な思考力・表現力を育てる教材数	☆☆ 25	☆☆☆☆ 29	☆ 22	☆☆☆☆ 28	
	文章表現能力の育成を図る教材数	☆☆☆ 26	☆ 22	☆☆ 24	☆☆☆☆ 28	
	領域別 単元数 の 主 領 に 表	話すこと・聞くこと	☆☆ 15	☆ 12	☆ 14	☆☆☆☆ 20
		書くこと	☆☆☆☆ 22	☆ 19	☆ 18	☆☆☆☆ 22
		読むこと	☆ 39	☆ 38	☆☆☆☆ 48	☆☆ 43
	別 作 品 数 種 の 文 種	説明的な文章	☆ 13	☆ 16	☆☆☆☆ 30	☆☆ 21
		文学的な文章	☆ 12	☆ 12	☆☆☆ 15	☆☆☆☆ 16
		詩歌(古典を含まない)	☆☆☆☆ 48	☆ 35	☆☆☆☆ 52	☆☆ 41
構成上の工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・巻末に、3年間の「言葉の力」と「学びを支える言葉の力」の一覧を掲載し、巻頭に各学年の学習内容と学習指導要領との対応を提示している。 ・「話す・聞く」「書く」では、完成作品例や、途中段階の具体例、話し合いの例などが示されている。(1年P55など) ・各教材を「目標」「問いかけ」→「言葉の力」→記述式の「振り返り」という流れで構成し、生徒が主体的に取り組んだり振り返ったりできるようにしている。	・「領域別教材一覧」に「つけたい力」を示し、見直しをもって学習に取り組めるように工夫している。 ・各教材で、目標を確かめて、学習の見直しを持ち、「学習の流れ」が分かるようにしている。 ・単元のまとめで、振り返りのキーワードが示され、これからの学習に生かすため、自分の学習を振り返って評価できるようにしている。	・単元の構成と学びを進める七つのキーワードにより、多様な話題への取組を通して言葉の力を高める。 ・各教材に学習内容を明確化するページを設け、各教材に入る前に、内容をより深く理解したり、学習内容を認識したりするための手立てを示している。 ・「目標」と「振り返り」で、課題意識を高め、学習内容を達成したか、学習者自らが学習の方法や内容を振り返り、学んだことを自覚できるように工夫している。	・巻頭に、1年間の国語学習全体を見渡せる資料を提示している。 ・「学習」(手引き)の「見直しをもつ」で何を何のために学ぶかを把握し、「学習課題」で学習過程に即して主体的に学び、「振り返る」で自己の成長を実感できるようにしている。	
参 考	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料	あり	あり	あり	あり	
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	



都立桜修館中等教育学校 国語 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東 書	15 三省堂	17 教 出	38 光 村	
内 容	日本の文化・伝統を学ぶ古典の教材数	☆ 20	☆ 19	☆☆☆☆ 26	☆☆☆ 24	
	国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	☆ 4	☆ 4	☆☆☆ 7	☆☆☆☆ 9	
	論理的な思考力・表現力を育てる教材数	☆☆ 25	☆☆☆☆ 29	☆ 22	☆☆☆☆ 28	
	文章表現能力の育成を図る教材数	☆☆☆ 26	☆ 22	☆☆ 24	☆☆☆☆ 28	
	領域別 単元数 の 主 領 に 表	話すこと・聞くこと	☆☆ 15	☆ 12	☆ 14	☆☆☆☆ 20
		書くこと	☆☆☆☆ 22	☆ 19	☆ 18	☆☆☆☆ 22
		読むこと	☆ 39	☆ 38	☆☆☆☆ 48	☆☆ 43
	別 作 品 数 種 の 文 種	説明的な文章	☆ 13	☆ 16	☆☆☆☆ 30	☆☆ 21
		文学的な文章	☆ 12	☆ 12	☆☆☆ 15	☆☆☆☆ 16
		詩歌(古典を含まない)	☆☆☆☆ 48	☆ 35	☆☆☆☆ 52	☆☆ 41
構成上の工夫	<p>「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・巻末に、3年間の「言葉の力」と「学びを支える言葉の力」の一覧を掲載し、巻頭に各学年の学習内容と学習指導要領との対応を提示している。</li> <li>・「話す・聞く」「書く」では、完成作品例や、途中段階の具体例、話し合いの例などが示されている。(1年P55など)</li> <li>・各教材を「目標」「問いかけ」→「言葉の力」→記述式の「振り返り」という流れで構成し、生徒が主体的に取り組んだり振り返ったりできるようにしている。</li> <li>・「領域別教材一覧」に「つけたい力」を示し、見直しをもって学習に取り組めるように工夫している。</li> <li>・各教材で、目標を確かめて、学習の見直しを持ち、「学習の流れ」が分かるようにしている。</li> <li>・単元のまとめで、振り返りのキーワードが示され、これからの学習に生かすため、自分の学習を振り返って評価できるようにしている。</li> <li>・単元の構成と学びを進める七つのキーワードにより、多様な話題への取組を通して言葉の力を高める。</li> <li>・各教材に学習内容を明確化するページを設け、各教材に入る前に、内容をより深く理解したり、学習内容を認識したりするための手立てを示している。</li> <li>・「目標」と「振り返り」で、課題意識を高め、学習内容を達成したか、学習者自らが学習の方法や内容を振り返り、学んだことを自覚できるように工夫している。</li> <li>・巻頭に、1年間の国語学習全体を見渡せる資料を提示している。</li> <li>・「学習」(手引き)の「見直しをもつ」で何を何のために学ぶかを把握し、「学習課題」で学習過程に即して主体的に学び、「振り返る」で自己の成長を実感できるようにしている。</li> </ul>					
参 考	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料	あり	あり	あり	あり	
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	

都立立川国際中等教育学校 国語 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東 書	15 三省堂	17 教 出	38 光 村	
内 容	日本の文化・伝統を学ぶ古典の教材数	☆ 20	☆ 19	☆☆☆☆ 26	☆☆☆ 24	
	豊かな読書活動へと発展する教材数	☆☆ 40	☆ 33	☆☆☆☆ 48	☆ 35	
	論理的な思考力・表現力を育てる教材数	☆☆ 25	☆☆☆☆ 29	☆ 22	☆☆☆☆ 28	
	文章表現能力の育成を図る教材数	☆☆☆ 26	☆ 22	☆☆ 24	☆☆☆☆ 28	
	な 単 元 数	域お現判(「思 ごけ力断考力、 との等力、 の3」) 主領に表	☆☆ 15	☆ 12	☆ 14	☆☆☆☆ 20
		話すこと・聞くこと	☆☆☆☆ 22	☆ 19	☆ 18	☆☆☆☆ 22
		書くこと	☆ 39	☆ 38	☆☆☆☆ 48	☆☆ 43
	と 判 別 作 品 数	「現断考力、 読力等」 読むこ表	☆ 13	☆ 16	☆☆☆☆ 30	☆☆ 21
		説明的な文章	☆ 12	☆ 12	☆☆☆ 15	☆☆☆☆ 16
		文学的な文章	☆☆☆☆ 48	☆ 35	☆☆☆☆ 52	☆☆ 41
詩歌(古典を含まない)						
構成上の工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・巻末に、3年間の「言葉の力」と「学びを支える言葉の力」の一覧を掲載し、巻頭に各学年の学習内容と学習指導要領との対応を提示している。 ・「話す・聞く」「書く」では、完成作品例や、途中段階の具体例、話し合いの例などが示されている。(1年P55など) ・各教材を「目標」「問いかけ」→「言葉の力」→記述式の「振り返り」という流れで構成し、生徒が主体的に取り組んだり振り返ったりできるようにしている。	・「領域別教材一覧」に「つけたい力」を示し、見直しをもって学習に取り組めるように工夫している。 ・各教材で、目標を確かめて、学習の見直しを持ち、「学習の流れ」が分かるようにしている。 ・単元のまとめで、振り返りのキーワードが示され、これからの学習に生かすため、自分の学習を振り返って評価できるようにしている。	・単元の構成と学びを進める七つのキーワードにより、多様な話題への取組を通して言葉の力を高める。 ・各教材に学習内容を明確化するページを設け、各教材に入る前に、内容をより深く理解したり、学習内容を認識したりするための手立てを示している。 ・「目標」と「振り返り」で、課題意識を高め、学習内容を達成したか、学習者自らが学習の方法や内容を振り返り、学んだことを自覚できるように工夫している。	・巻頭に、1年間の国語学習全体を見渡せる資料を提示している。 ・「学習」(手引き)の「見直しをもつ」で何を何のために学ぶかを把握し、「学習課題」で学習過程に即して主体的に学び、「振り返る」で自己の成長を実感できるようにしている。	
参 考	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料	あり	あり	あり	あり	
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	

都立武蔵高等学校附属中学校 国語 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東 書	15 三省堂	17 教 出	38 光 村	
内 容	国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	☆ 4	☆ 4	☆☆☆ 7	☆☆☆☆ 9	
	豊かな読書活動へと発展する教材数	☆☆ 40	☆ 33	☆☆☆☆ 48	☆ 35	
	音声言語による伝え合う力の育成を図る教材数	☆☆☆ 22	☆ 16	☆☆☆ 22	☆☆☆☆ 25	
	論理的な思考力・表現力を育てる教材数	☆☆ 25	☆☆☆☆ 29	☆ 22	☆☆☆☆ 28	
	な 単 元 数	域お現判(思 ごけ力断考力 との等力、 3)「」表	☆☆ 15	☆ 12	☆ 14	☆☆☆☆ 20
		話すこと・聞くこと	☆☆☆☆ 22	☆ 19	☆ 18	☆☆☆☆ 22
		書くこと	☆ 39	☆ 38	☆☆☆☆ 48	☆☆ 43
	と 判 別 作 品 数	「現断考力、 読む等」表	☆ 13	☆ 16	☆☆☆☆ 30	☆☆ 21
		説明的な文章	☆ 12	☆ 12	☆☆☆ 15	☆☆☆☆ 16
		文学的な文章	☆☆☆☆ 48	☆ 35	☆☆☆☆ 52	☆☆ 41
	詩歌(古典を含まない)					
構 成 上 の 工 夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・巻末に、3年間の「言葉の力」と「学びを支える言葉の力」の一覧を掲載し、巻頭に各学年の学習内容と学習指導要領との対応を提示している。 ・「話す・聞く」「書く」では、完成作品例や、途中段階の具体例、話し合いの例などが示されている。(1年P55など) ・各教材を「目標」「問いかけ」→「言葉の力」→記述式の「振り返り」という流れで構成し、生徒が主体的に取り組んだり振り返ったりできるようにしている。	・「領域別教材一覧」に「つけたい力」を示し、見通しをもって学習に取り組めるように工夫している。 ・各教材で、目標を確かめて、学習の見通しを持ち、「学習の流れ」が分かるようにしている。 ・単元のまとめで、振り返りのキーワードが示され、これからの学習に生かすため、自分の学習を振り返って評価できるようにしている。	・単元の構成と学びを進める七つのキーワードにより、多様な話題への取組を通して言葉の力を高める。 ・各教材に学習内容を明確化するページを設け、各教材に入る前に、内容をより深く理解したり、学習内容を認識したりするための手立てを示している。 ・「目標」と「振り返り」で、課題意識を高め、学習内容を達成したか、学習者自らが学習の方法や内容を振り返り、学んだことを自覚できるように工夫している。	・巻頭に、1年間の国語学習全体を見渡せる資料を提示している。 ・「学習」(手引き)の「見通しをもつ」で何を何のために学ぶかを把握し、「学習課題」で学習過程に即して主体的に学び、「振り返る」で自己の成長を実感できるようにしている。	
参 考	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料	あり	あり	あり	あり	
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	

都立富士高等学校附属中学校 国語 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東 書	15 三省堂	17 教 出	38 光 村	
内 容	豊かな読書活動へと発展する教材数	☆☆ 40	☆ 33	☆☆☆☆ 48	☆ 35	
	音声言語による伝え合う力の育成を図る教材数	☆☆☆ 22	☆ 16	☆☆☆ 22	☆☆☆☆ 25	
	論理的な思考力・表現力を育てる教材数	☆☆ 25	☆☆☆☆ 29	☆ 22	☆☆☆☆ 28	
	文章表現能力の育成を図る教材数	☆☆☆ 26	☆ 22	☆☆ 24	☆☆☆☆ 28	
	な 単 元 数	域お現判(「思 ごけ力断力、考 とのる等力、考 の3」)力、考 主領に表	☆☆ 15	☆ 12	☆ 14	☆☆☆☆ 20
		話すこと・聞くこと	☆☆☆☆ 22	☆ 19	☆ 18	☆☆☆☆ 22
		書くこと	☆ 39	☆ 38	☆☆☆☆ 48	☆☆ 43
	と 判 別 作 品 数	「現断力、考 読む等力、考 むこ」表	☆ 13	☆ 16	☆☆☆☆ 30	☆☆ 21
		説明的な文章	☆ 12	☆ 12	☆☆☆ 15	☆☆☆☆ 16
		文学的な文章	☆☆☆☆ 48	☆ 35	☆☆☆☆ 52	☆☆ 41
詩歌(古典を含まない)						
構成上の工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・巻末に、3年間の「言葉の力」と「学びを支える言葉の力」の一覧を掲載し、巻頭に各学年の学習内容と学習指導要領との対応を提示している。 ・「話す・聞く」「書く」では、完成作品例や、途中段階の具体例、話し合いの例などが示されている。(1年P55など) ・各教材を「目標」「問いかけ」→「言葉の力」→記述式の「振り返り」という流れで構成し、生徒が主体的に取り組んだり振り返ったりできるようにしている。	・「領域別教材一覧」に「つけたい力」を示し、見直しをもって学習に取り組めるように工夫している。 ・各教材で、目標を確かめて、学習の見直しを持ち、「学習の流れ」が分かるようにしている。 ・単元のまとめで、振り返りのキーワードが示され、これからの学習に生かすため、自分の学習を振り返って評価できるようにしている。	・単元の構成と学びを進める七つのキーワードにより、多様な話題への取組を通して言葉の力を高める。 ・各教材に学習内容を明確化するページを設け、各教材に入る前に、内容をより深く理解したり、学習内容を認識したりするための手立てを示している。 ・「目標」と「振り返り」で、課題意識を高め、学習内容を達成したか、学習者自らが学習の方法や内容を振り返り、学んだことを自覚できるように工夫している。	・巻頭に、1年間の国語学習全体を見渡せる資料を提示している。 ・「学習」(手引き)の「見直しをもつ」で何を何のために学ぶかを把握し、「学習課題」で学習過程に即して主体的に学び、「振り返る」で自己の成長を実感できるようにしている。	
参 考	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料	あり	あり	あり	あり	
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	

都立大泉高等学校附属中学校 国語 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東 書	15 三省堂	17 教 出	38 光 村	
内 容	国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	☆ 4	☆ 4	☆☆☆ 7	☆☆☆☆ 9	
	音声言語による伝え合う力の育成を図る教材数	☆☆☆ 22	☆ 16	☆☆☆ 22	☆☆☆☆ 25	
	論理的な思考力・表現力を育てる教材数	☆☆ 25	☆☆☆☆ 29	☆ 22	☆☆☆☆ 28	
	文章表現能力の育成を図る教材数	☆☆☆ 26	☆ 22	☆☆ 24	☆☆☆☆ 28	
	な 単 元 数	域お現判(思 ごけ力断考力 とのる等力、 3)「」表	☆☆ 15	☆ 12	☆ 14	☆☆☆☆ 20
		話すこと・聞くこと	☆☆☆☆ 22	☆ 19	☆ 18	☆☆☆☆ 22
		書くこと	☆ 39	☆ 38	☆☆☆☆ 48	☆☆ 43
	と 判 別 作 品 数	「現断考力、 読む等力、 むこ」表	☆ 13	☆ 16	☆☆☆☆ 30	☆☆ 21
		説明的な文章	☆ 12	☆ 12	☆☆☆ 15	☆☆☆☆ 16
		文学的な文章	☆☆☆☆ 48	☆ 35	☆☆☆☆ 52	☆☆ 41
詩歌(古典を含まない)						
構成上の工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・巻末に、3年間の「言葉の力」と「学びを支える言葉の力」の一覧を掲載し、巻頭に各学年の学習内容と学習指導要領との対応を提示している。 ・「話す・聞く」「書く」では、完成作品例や、途中段階の具体例、話し合いの例などが示されている。(1年P55など) ・各教材を「目標」「問いかけ」→「言葉の力」→記述式の「振り返り」という流れで構成し、生徒が主体的に取り組んだり振り返ったりできるようにしている。	・「領域別教材一覧」に「つけたい力」を示し、見直しをもって学習に取り組めるように工夫している。 ・各教材で、目標を確かめて、学習の見直しを持ち、「学習の流れ」が分かるようにしている。 ・単元のまとめで、振り返りのキーワードが示され、これからの学習に生かすため、自分の学習を振り返って評価できるようにしている。	・単元の構成と学びを進める七つのキーワードにより、多様な話題への取組を通して言葉の力を高める。 ・各教材に学習内容を明確化するページを設け、各教材に入る前に、内容をより深く理解したり、学習内容を認識したりするための手立てを示している。 ・「目標」と「振り返り」で、課題意識を高め、学習内容を達成したか、学習者自らが学習の方法や内容を振り返り、学んだことを自覚できるように工夫している。	・巻頭に、1年間の国語学習全体を見渡せる資料を提示している。 ・「学習」(手引き)の「見直しをもつ」で何を何のために学ぶかを把握し、「学習課題」で学習過程に即して主体的に学び、「振り返る」で自己の成長を実感できるようにしている。	
参 考	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料	あり	あり	あり	あり	
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	

都立南多摩中等教育学校 国語 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東 書	15 三省堂	17 教 出	38 光 村	
内 容	国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	☆ 4	☆ 4	☆☆☆ 7	☆☆☆☆ 9	
	豊かな読書活動へと発展する教材数	☆☆ 40	☆ 33	☆☆☆☆ 48	☆ 35	
	論理的な思考力・表現力を育てる教材数	☆☆ 25	☆☆☆☆ 29	☆ 22	☆☆☆☆ 28	
	文章表現能力の育成を図る教材数	☆☆☆ 26	☆ 22	☆☆ 24	☆☆☆☆ 28	
	領域お現判「 ごけ力断思 とのる等力、 の3」考力、 主領に表	話すこと・聞くこと	☆☆ 15	☆ 12	☆ 14	☆☆☆☆ 20
		書くこと	☆☆☆☆ 22	☆ 19	☆ 18	☆☆☆☆ 22
		読むこと	☆ 39	☆ 38	☆☆☆☆ 48	☆☆ 43
	と判断「 別「 作の読力等、 品文むこ」考力、 数種こ」表	説明的な文章	☆ 13	☆ 16	☆☆☆☆ 30	☆☆ 21
		文学的な文章	☆ 12	☆ 12	☆☆☆ 15	☆☆☆☆ 16
		詩歌(古典を含まない)	☆☆☆☆ 48	☆ 35	☆☆☆☆ 52	☆☆ 41
構成上の工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・巻末に、3年間の「言葉の力」と「学びを支える言葉の力」の一覧を掲載し、巻頭に各学年の学習内容と学習指導要領との対応を提示している。 ・「話す・聞く」「書く」では、完成作品例や、途中段階の具体例、話し合いの例などが示されている。(1年P55など) ・各教材を「目標」「問いかけ」→「言葉の力」→記述式の「振り返り」という流れで構成し、生徒が主体的に取り組んだり振り返ったりできるようにしている。	・「領域別教材一覧」に「つけたい力」を示し、見直しをもって学習に取り組めるように工夫している。 ・各教材で、目標を確かめて、学習の見直しを持ち、「学習の流れ」が分かるようにしている。 ・単元のまとめで、振り返りのキーワードが示され、これからの学習に生かすため、自分の学習を振り返って評価できるようにしている。	・単元の構成と学びを進める七つのキーワードにより、多様な話題への取組を通して言葉の力を高める。 ・各教材に学習内容を明確化するページを設け、各教材に入る前に、内容をより深く理解したり、学習内容を認識したりするための手立てを示している。 ・「目標」と「振り返り」で、課題意識を高め、学習内容を達成したか、学習者自らが学習の方法や内容を振り返り、学んだことを自覚できるように工夫している。	・巻頭に、1年間の国語学習全体を見渡せる資料を提示している。 ・「学習」(手引き)の「見直しをもつ」で何を何のために学ぶかを把握し、「学習課題」で学習過程に即して主体的に学び、「振り返る」で自己の成長を実感できるようにしている。	
参 考	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料	あり	あり	あり	あり	
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	

都立三鷹中等教育学校 国語 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東 書	15 三省堂	17 教 出	38 光 村	
内 容	国際的な視野に立った内容を扱っている教材数	☆ 4	☆ 4	☆☆☆ 7	☆☆☆☆ 9	
	豊かな読書活動へと発展する教材数	☆☆ 40	☆ 33	☆☆☆☆ 48	☆ 35	
	音声言語による伝え合う力の育成を図る教材数	☆☆☆ 22	☆ 16	☆☆☆ 22	☆☆☆☆ 25	
	論理的な思考力・表現力を育てる教材数	☆☆ 25	☆☆☆☆ 29	☆ 22	☆☆☆☆ 28	
	な 単 元 数 域 お こ の 主 領 に 表	現 判 断 力 、 思 考 力 、 読 解 力 、 書 き 表 現 力 、 語 句 の 使 い 、 文 章 の 理 解 、 文 章 の 構 成 、 文 章 の 分 析 、 文 章 の 評 価 、 文 章 の 鑑 賞 、 文 章 の 作 成 、 文 章 の 改 訂 、 文 章 の 再 考 、 文 章 の 再 考 、 文 章 の 再 考	話すこと・聞くこと ☆☆ 15	☆ 12	☆ 14	☆☆☆☆ 20
		書くこと	☆☆☆☆ 22	☆ 19	☆ 18	☆☆☆☆ 22
		読むこと	☆ 39	☆ 38	☆☆☆☆ 48	☆☆ 43
	と 判 断 力 、 思 考 力 、 読 解 力 、 書 き 表 現 力 、 語 句 の 使 い 、 文 章 の 理 解 、 文 章 の 構 成 、 文 章 の 分 析 、 文 章 の 評 価 、 文 章 の 鑑 賞 、 文 章 の 作 成 、 文 章 の 改 訂 、 文 章 の 再 考 、 文 章 の 再 考 、 文 章 の 再 考	説明的な文章	☆ 13	☆ 16	☆☆☆☆ 30	☆☆ 21
		文学的な文章	☆ 12	☆ 12	☆☆☆ 15	☆☆☆☆ 16
		詩歌(古典を含まない)	☆☆☆☆ 48	☆ 35	☆☆☆☆ 52	☆☆ 41
構成上の工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・巻末に、3年間の「言葉の力」と「学びを支える言葉の力」の一覧を掲載し、巻頭に各学年の学習内容と学習指導要領との対応を提示している。 ・「話す・聞く」「書く」では、完成作品例や、途中段階の具体例、話し合いの例などが示されている。(1年P55など) ・各教材を「目標」「問いかけ」→「言葉の力」→記述式の「振り返り」という流れで構成し、生徒が主体的に取り組んだり振り返ったりできるようにしている。	・「領域別教材一覧」に「つけたい力」を示し、見通しをもって学習に取り組めるように工夫している。 ・各教材で、目標を確かめて、学習の見通しを持ち、「学習の流れ」が分かるようにしている。 ・単元のまとめで、振り返りのキーワードが示され、これからの学習に生かすため、自分の学習を振り返って評価できるようにしている。	・単元の構成と学びを進める七つのキーワードにより、多様な話題への取組を通して言葉の力を高める。 ・各教材に学習内容を明確化するページを設け、各教材に入る前に、内容をより深く理解したり、学習内容を認識したりするための手立てを示している。 ・「目標」と「振り返り」で、課題意識を高め、学習内容を達成したか、学習者自らが学習の方法や内容を振り返り、学んだことを自覚できるように工夫している。	・巻頭に、1年間の国語学習全体を見渡せる資料を提示している。 ・「学習」(手引き)の「見通しをもつ」で何を何のために学ぶかを把握し、「学習課題」で学習過程に即して主体的に学び、「振り返る」で自己の成長を実感できるようにしている。	
参 考	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料	あり	あり	あり	あり	
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり	
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり	

